



ひらどだい

令和3年度 学校だより 11月号 横浜市立平戸台小学校 校長 藤巻 孝之



実りの秋

副校長 渡邊 智志

10月16日の運動会では、たくさんの声援をいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。天候が心配されましたが、子どもたちの頑張る気持ちが雨雲を吹き飛ばしてくれたかのようでした。低中高学年各ブロックの演技も、練習の時にも増して力がみなぎったものになったように思います。

また、運動会アンケートへのご協力、ありがとうございます。皆様の温かいメッセージに、職員ともども励まされました。9月の分散登校で練習の期間が短くなったことや感染症対策で当日の時間短縮を行ったことへの配慮の言葉をいただきました。また、子どもたちが家庭でタブレットを見ながら進んでダンスの練習をしている様子なども教えていただきました。一人ひとりの子どもたちが運動会に向けて気持ちを高めていたことが改めてわかりました。アンケートの結果は後日お伝えいたします。

25日、2年生がサツマイモの収穫を行いました。苗を植えるときにもご指導いただいたお二人のサポーターの方がお力添えをくださいました。まずは、子どもたちが来る前に長く伸びたつるを刈り取っていただきました。等間隔に植えられたサツマイモの株が畝の中に浮かび上がります。

サポーターの方が実際にサツマイモを掘りながら、気を付けることを教えてくださいました。

「まず、イモの形に沿って土を掘ってください。はじめから茎を引っ張ると、イモが途中で折れてしまうから、無理やり引っ張ってはだめだよ。イモの形を感じながら、優しく、イモに合わせて掘るんだよ。」

軍手をした手で、土を丁寧にかいていきます。子どもたちは興味津々、イモを掘る様子を見ている。みるみる間に25cmはあろうという大きなイモが現れました。子どもたちは歓声を上げています。しかし、サポーターの方はまだ掘り続けています。大きなイモの下に、まだまだたくさんのイモが隠れていたのです。掘り上げてみると、一つの株に6つものサツマイモができていました。

いよいよ、子どもたちがイモを掘ります。教わった通り丁寧に土をかいていきます。私の目の前で掘っていた子のイモは、サポーターさんが掘り出したものよりさらに大きく育っています。小さいイモがたくさんついているものもあり、どの子も自分が掘り出したイモに満足げな顔をしていました。サポーターさんは子どもたちがこれから掘るイモのはるか下のほうに少しずつシャベルを入れ、子どもたちが掘りやすいように土をほぐしてくださっています。「重くて持てないよ。」といううれしい悲鳴も聞かれました。

子どもたちが掘り出したイモを改めて見ると、大きさも形もそれぞれがちがっており、長細いものもまん丸と太ったものもありました。ですが、天候が良かったためかどのイモもつやつやに光っていました。土の中すでに折れていたものもありましたが、ご指導のおかげで掘り出すときに子どもたちが折ってしまったものはありませんでした。

サポーターの方があらかじめ刈り取ってくださっていたサツマイモのつるは、子どもたちの手でリースに作り替えられました。年末に向けて、飾りなどをつけて、それぞれの楽しみが広がることと思います。

